



2020年から小学校でプログラミング教育が必修となりました。コンピュータサイエンスを初等教育から学ぶことは、世界的な流れです。図書館にできる「プログラミング思考教育」について、『ルビィのぼうけん』シリーズの著者リンダ・リウカス氏が著作に込めた思いや、『ルビィのぼうけん』シリーズを使って体験できることなどについて、ライブラリアンの方々や子どもの教育に携わる方々にお伝えしたいと思います。

参加無料(逐次通訳付)

『ルビィのぼうけん』著者

リンダ・リウカス講演会

会場:(株)図書館流通センター 本社 地下ホール

〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1 東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅 徒歩1分 ※裏面のFAX申込書にてお申し込みください

2019年
6月7日(金)

14:30 開場 / 15:00 開始

所要時間:120分

定員:150名



リンダ・リウカス / Linda Liukas



フィンランド、ヘルシンキ出身のプログラマー、作家、イラストレーター。

『ルビィのぼうけん』はクラウドファンディングのKickstarterでまず資金を募り、発表からたった3時間強で目標金額の\$10,000を達成。その後、Kickstarterの中でもっとも資金を集めた絵本となりました。リンダはアールト大学でビジネス、デザイン、そしてエンジニアリングを。スタンフォード大学で製品エンジニアリングを学びました。現在、プログラミングの世界で中心人物のひとりであり、世界中の若い女性にプログラミングの基礎を教える団体Rails Girlsの創業者でもあります。ここ数年間で160を超える都市でワークショップが開催され、10,000人以上の女性がプログラミングの基礎を学んでいます。